

山口大学 ハラスメント防止研修

弁護士 鈴木 朋絵



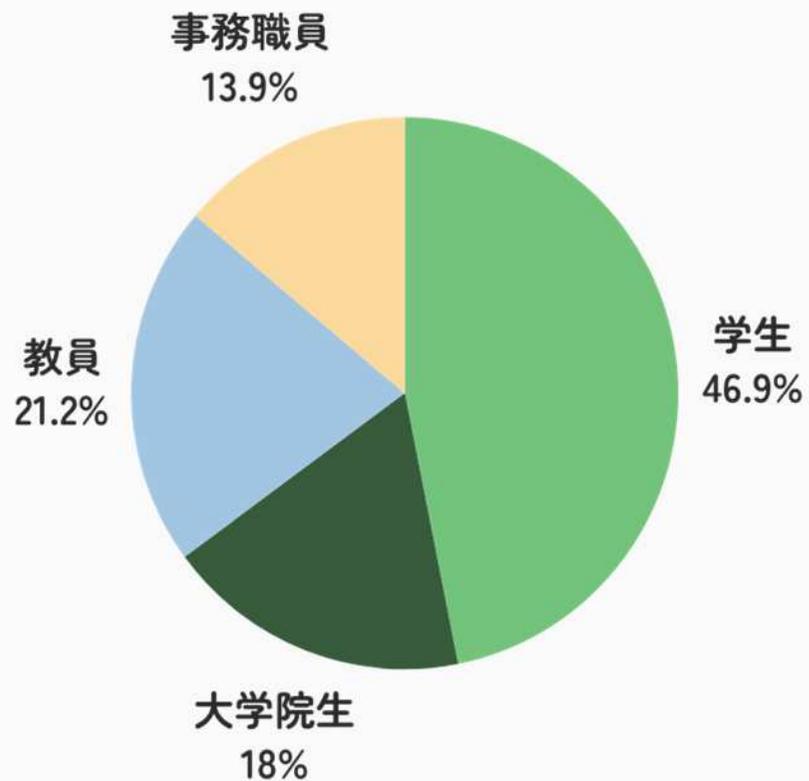
目次

01	ハラスメントの基本	05	S O G I ハラスメント
02	アルコールハラスメント	06	S N S による被害拡大
03	アカデミックハラスメント	07	被害を受けたら
04	セクシュアルハラスメント	08	相談窓口のご案内

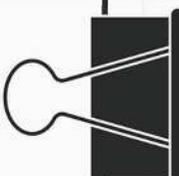
01

ハラスメントの基本

日本学術会議アンケート調査（2019-2020、三成美保教授）



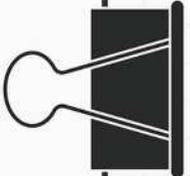
2017年度に新たに受理されたハラスメント相談の相談者属性



01

ハラスメントの基本

種類	内容
アルコールハラスメント	20歳未満の学生に飲酒をすすめる、飲みたくないと言っている人に飲酒をすすめるハラスメント
アカデミックハラスメント (キャンパスハラスメント)	教育・研究の場で立場・権力を利用して行われるハラスメント
セクシュアルハラスメント	相手の意に反する性的な性質の不適切な言動（身体接触、発言）によるハラスメント
SOGIハラスメント	相手の性自認、性的指向等セクシュアリティを否定し、尊厳を傷つけるハラスメント

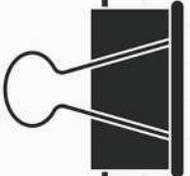


01

ハラスメントの基本

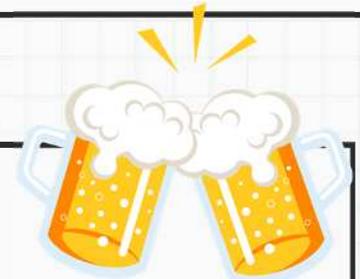
被害の影響が大きくなることがあります

- **精神疾患の発症**
一回でも重度のストレスを与えるハラスメント、継続・反復することでストレスが積み重なり、PTSDにつながることもある
- **学業を継続できない**
心身の体調が悪化し大学に行けない、加害者と同じ場では安全に就学できない
- **キャリア中断**
単位・卒業資格を得られなくなると、将来の就職、キャリア形成に影響
- **経済的損害**
就学できない間の学費、医療費、就職が遅れることによる逸失利益など



02

アルコールハラメント

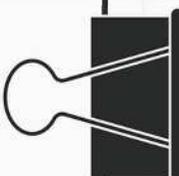


言動例

- 20歳未満に飲酒をすすめる
二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律
- 飲酒の強要
- ビールを勝手に注文する
- イッキ飲みや早飲・多量飲酒競争
- 意図的に酔いつぶす
- 飲めない人をばかにする
- 酒乱

被害の実態

- 急性アルコール中毒（泥酔⇒昏睡）
- 吐いたものが喉につまって窒息死
- 事故（海、池での転落等）
- 飲酒運転
- 暴言・暴力・セクハラ・性暴力



03

アカデミックハラスメント

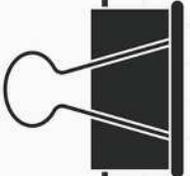


言動例

- 授業を受けさせない
- 研究室のプロジェクトやイベント作業を許容量を超えて押しつける
- 研究を指導しない
- 客観性・公平性に欠ける成績評価
- 学生のプライバシーを暴露する
- 就職活動をさせない
- 就職活動において不利な扱い
(理由なく推薦を拒否など)

被害の実態

- 学業上の不利益
- 授業の単位を得られない
- 研究を進められない
- 就職ができない
- 精神的ストレスで通学できない
- 中途退学によるキャリア中断



04

セクシュアルハラスメント

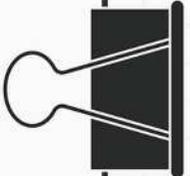


言動例

- ・ 不同意わいせつ罪・不同意性交罪などに該当する行為
- ・ デートDV、ストーカー、リベンジポルノ、盗撮など
- ・ 相手の意に反する性的な発言
- ・ 性的指向・性自認（SOGI）などについて差別的言動、アウティング

被害の実態

- ・ 交際相手や友人・知人間での発生例に注意。
- ・ 被害者は性別を問わない。
- ・ 同性間での被害も。
- ・ 直接の証拠がなくとも、性暴力被害者の精神疾患の発症で事実が認定されることもある。



04

セクシュアルハラスメント

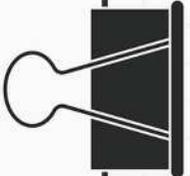
『その場ではいやがっているように見えなかったのに』

内心では、不快感・嫌悪感をもっていても、
その場の人間関係を悪化して、
「いやだ」「やめてほしい」といったことを
言わずにがまんすることは、よくあることです



「自分は許されている」「自分だけは大丈夫」
と過信しないように気をつけましょう

参考：最高裁平成27年2月26日海遊館事件判決



05

SOGIハラスメント

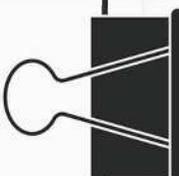


基本知識

- 性的指向 (Sexual Orientation)
自分がどの性別の人を好きになるか
異性愛／同性愛／両性愛 など
- 性自認 (Gender Identity)
自分の性別についての認識。
出生時に割り当てられた性 (戸籍等の性) と一致する人もいれば、一致しない
・ 違和がある人 (トランスジェンダー) もいます。

被害の実態

- 差別語を言われる (オカマ、ホモ、レズ、おとこおんな など)
- 本人に無断で性的指向や性自認に関わる情報を他人にばらされる (アウティング/Outing)
- 交際相手は異性だと決めつけられて恋愛話を求められる など



06

SNSやスマートフォンを利用した被害

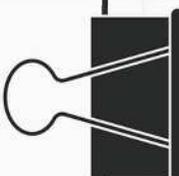


悪用されるアプリ

- カメラ
- LINE
- Instagram
- TikTok
- X (旧twitter)
- OB/OG訪問アプリ
- マッチングアプリ

被害の実態

- LINEの既読スルーを許さない
- Instagram等にあがった情報に基づきストーキング
- 友人知人を調べて関係を絶つように強要
- 裸の写真をばらまく
- プライバシーの暴露や相手をばかにする言葉、いじめを促す発信
- 就職のための訪問でセクハラ



07

被害を受けたら

まず、客観化することが重要です

記録をつける

被害内容：

いつ・どこで・だれから・なにをされたか

被害の後：

いつ・どこの誰に・相談をしてどのような対応を受けたか

目的

事態の把握
次のアクションを考える

証拠を捨てない

録音・録画

LINE（バックアップする、スクリーンショットを撮る）

eメール

目的

被害相談・自分の安全を図るための要求の根拠資料を1つでも確保

相談する

大学の中の相談窓口

警察

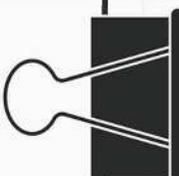
救急・病院

弁護士

など

目的

これ以上の被害を防止
回復に向けたアクション



08

友人から相談を受けたら

Q

最初のアドバイスは？

相談のための一歩が踏み出せないので

相談を聞いていたらつらくなってきました

A

犯罪被害の場合は警察にすぐに相談を。けがをしていたら救急か病院へ。そうでない場合は本人によりそいながら、記録や証拠の確保、相談窓口の確認を。

強い不安、正常バイアス、心理的解離などにより相談することを決められないことも。丁寧に相談を促しつつ、学内の相談窓口は代理相談や第三者からの相談も受けていますから、その方法も検討してみてください。

相談を聞き続けると、自分も被害にあったかのように感じたり、無力感を覚えたりすることがあります（二次受傷といいます）。相談窓口につなげて、少しずつ手を離しましょう。

大学内の相談窓口のご案内



STOP
campus harassment

山口大学は、「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」の創造・共有・共有精神の涵養・公正・友愛・平等の尊重を基本理念としています。
この基本理念のもと、キャンパス内のすべての人が、個人として尊重され、ハラスメントのない快適な環境の中で学び、教育・研究し、働くことができるよう、「山口大学ハラスメント防止・対策に関するガイドライン」を定め、ハラスメント防止に努めるとともに、発生した問題に対して適切な解決に努めています。
大学の構成員である皆さん一人ひとりが、お互いの人格を認め合い、個人として尊重することにより、ハラスメントのない快適なキャンパスを作っていきます。

国立大学法人山口大学 ハラスメント防止・対策委員会

ハラスメント防止・対策委員会ホームページ
パソコンやスマートフォンから簡単にアクセス出来ます。
<https://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~epsc/>

山口大学で学び、働く皆さんへ

アクセスはこちら
↓



ハラスメントって、なに？
もしハラスメントにあったら・・・
相談体制
相談員と相談方法はこちら【学内限定】

- ハラスメント防止・対策委員会の活動紹介
- ハラスメント防止・対策に関するガイドライン
- ハラスメントの防止及び対策に関する規則
- ハラスメント防止対策システム概略図
- ハラスメントリーフレット「STOP Campus Harassment」
 - ・日本語版 (PDF)
 - ・英語版 English Version (PDF)
- 学生オリエンテーション用研修資料【学内限定】
- ハラスメント防止研修会 (moodle)

ログインPWは、担当までお問い合わせください

【学内限定】の項目は山口大学の外からアクセスできません。

管理責任者：国立大学法人山口大学ハラスメント防止・対策委員会
委員会へのご意見・ご感想はこちらへ

山口大学ホームページへ戻る